

免疫異常を伴う反復着床不全および習慣流産に対する免疫療法
～イントラリポスによる免疫抑制療法～

妊娠と免疫

ヒトの身体は自分自身以外のものが体内に入ると、これを異物として認識し、排除しようとする働きがありこれを免疫といいます。細菌やウイルスが体内に侵入した際の発熱や、臓器移植による拒絶反応もこの免疫によるものです。

半分が男性由来である受精卵を受け入れるには、女性側の免疫が受精卵を攻撃しないようにする免疫寛容が重要です。近年、良好胚を複数回移植しても妊娠が成立しない反復着床不全や流産を繰り返す習慣流産において免疫寛容に異常をきたしている症例があることがわかってきました。免疫に携わる細胞には様々なものがあり、妊娠の成立から維持にはNK細胞（ナチュラルキラー細胞）が大きく関わっているとされます。近年、精製大豆油がNK細胞の働きを抑えることが判明しました。免疫抑制療法はこの作用を利用して受精卵に対する拒絶反応を避け、着床を促すことが治療の目的です。

免疫抑制療法

大豆から抽出された精製大豆油は栄養不良の入院患者さんに行われる静脈栄養で、必須脂肪酸などを補給する脂肪乳剤です。大豆油を過剰に投与した場合、余剰になった成分が肝臓や脾臓の免疫系に取り込まれ一時的に免疫が抑制されるのが機序ですが詳細はよく分かっておりません。

治療対象となる方

NK細胞活性高値（40%以上）

有効性・安全性

有効性・安全性については今後の報告により変わる可能性があります。

以下に該当する方は治療を受けることができません。

- 大豆アレルギーの方
- 卵アレルギーの方
- 血管が細く、点滴ができない方
- 肝機能障害（検査値異常、肝炎、脂肪肝）のある方
- 血栓素因（抗リン脂質抗体陽性、血液凝固異常）のある方
- 高脂血症
- 喫煙

副作用

特にありません。

用法用量

注射剤イントラリポスを3～5時間かけて点滴で投与します。

治療期間

いつからいつまで治療するかについては、現時点においては一定の見解がありません。
着床障害の場合には胚移植日に、習慣流産の場合には妊娠判明後から使用します。

【着床障害の方】

胚移植日に点滴治療

【習慣流産の方】

妊娠判明後すみやかに点滴治療

NK 活性をモニタリングしながら、2～4 週間毎に点滴治療。

NK 活性が正常となるまで、もしくは安定期まで。

治療費（税別）

検査費用 NK 活性 7,500 円

治療費用 1 回 15,000 円

同意書

院長殿

免疫異常を伴う反復着床不全に対するイントラリポスによる免疫療法につき説明を受けました。
治療を受けることに同意します。

投与禁忌の条項確認

にチェックを入れてください

大豆アレルギー なし

卵アレルギー なし

肝機能障害（検査値異常、脂肪肝、肝炎） なし

血栓素因（抗リン脂質抗体陽性、血液凝固異常） なし

高脂血症 なし

喫煙 なし

西暦 年 月 日

夫 氏名

妻 氏名